

ロボット戦略 世界分散ファンド

愛称:資産の番人

第20期運用報告書（全体版）

（決算日 2026年 8月24日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）	
信託期間	2016年 9月30日から2031年 8月22日まで	
運用方針	値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ルクセンブルク籍投資法人「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」が発行する外国投資信託証券「日本円クラス（ヘッジ付）」および国内の証券投資信託である「T&Dマネーアカウンタマザーファンド」を主要投資対象とします。	
	マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ・日本円クラス（ヘッジ付）	先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引、為替先物取引およびコモディティ・インデックス・スワップ取引等を主要投資対象とします。
	T&Dマネーアカウンタマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品为主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 有価証券先物取引等の派生商品取引の指図は行いません。	
分配方針	毎決算時（2月と8月の22日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ロボット戦略 世界分散ファンド」は、2026年 8月24日に第20期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝 5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近 5 期の運用実績、基準価額の推移等

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	マ ン ・ A H L ・ アルファ ・ コア ・ オルタナティブ 日 本 円 ク ラ ス (ヘ ッ ジ 付) 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
16期 (2024年 8 月 22 日)	9,142	0	△ 7.5	0.0	—	95.1	5,173
17期 (2025年 2 月 25 日)	8,838	0	△ 3.3	0.0	—	97.3	4,225
18期 (2025年 8 月 22 日)	8,215	0	△ 7.0	0.0	—	94.8	3,489
19期 (2026年 2 月 24 日)	9,646	0	17.4	0.0	—	98.4	3,342
20期 (2026年 8 月 24 日)	9,843	0	2.0	0.0	—	95.9	3,023

(注) 基準価額および分配金は 1 万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

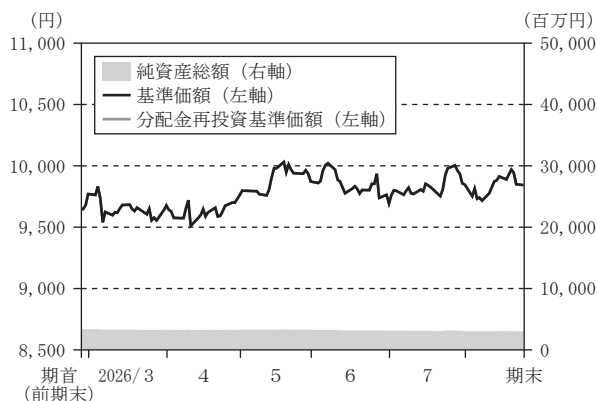
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	マ ン ・ A H L ・ アルファ ・ コア ・ オルタナティブ 日 本 円 ク ラ ス (ヘ ッ ジ 付) 組 入 比 率
		騰 落 率			
期首 (前期末) 2026年 2 月 24 日	円 9,646	% —	% 0.0	% —	% 98.4
2 月 末	9,771	1.3	0.0	—	95.1
3 月 末	9,676	0.3	0.0	—	96.7
4 月 末	9,762	1.2	0.0	—	97.9
5 月 末	9,873	2.4	0.0	—	95.9
6 月 末	9,693	0.5	0.0	—	95.6
7 月 末	9,846	2.1	0.0	—	98.0
期 末 2026年 8 月 24 日	9,843	2.0	0.0	—	95.9

(注) 基準価額は 1 万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第20期首：9,646円

第20期末：9,843円（既払分配金 0 円）

騰落率：2.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2026年2月24日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」において、コモディティ・セクターなどがプラス寄与となったことから、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）	2.6%
T & D マネーアカウンタマザーファンド	0.3

■ 投資環境

【株式市場】

期初は、イラン情勢の緊迫化に伴う原油価格の急騰や、インフレ再燃を受けた世界的な金融引締め観測から、株価は軟調な展開となりました。2026年4月以降は、米国とイランの停戦協議進展期待、半導体関連企業の業績拡大期待などを背景に反発しました。6月はA I（人工知能）インフラ関連銘柄が日本株を押し上げる一方、欧米では利上げ観測などが重しとなりました。7月には米国とイラン対立の再燃や原油高に加え、A I 投資の回収や高いバリュエーションへの警戒から、半導体・ハイテク株を中心に調整しました。8月月初には米国とイランの協議進展への期待などから株価が上昇する局面も見られたものの、その後は中東情勢の不透明感や主要国の金利上昇への警戒感などから上値の重い展開となりました。

【債券市場】

期初は、イラン情勢を巡る地政学リスクに伴う原油価格の急騰を受けてインフレ懸念が強まったほか、主要中央銀行が金融引締め姿勢を強めるとの警戒から、金利は上昇しました。2026年5月下旬以降は、中東情勢への懸念後退と原油安から金利は低下しました。7月以降は、米国とイランの対立再燃やエネルギー価格上昇、F R B（米連邦準備制度理事会）の利上げ観測の高まりなどから再び金利上昇圧力が強まり、期末にかけても日米での財政悪化への警戒もあり金利は高い水準で推移しました。

【為替市場】

期初から、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格上昇やインフレ懸念を背景に、米国の高金利環境が意識されるなか、米ドルが主要通貨に対して底堅く推移しました。2026年4月末には円安進行により当局による為替介入が実施され、大きく円高が進む局面も見られました。6月以降は、中東情勢の緊張緩和期待による原油安が進んだ一方、F R Bの金融引締め観測などが米ドルを下支えしました。7月には米国とイランの対立再燃や原油価格上昇を背景に円安の展開となるなか、円安是正に向けた日米による協調介入から7月末にかけて急速に円高が進展しました。期末にかけては、為替介入への警戒感が続く一方、日米金利差などを背景に総じて米ドル高円安基調となりました。

【コモディティ市場】

原油価格は、期前半は中東情勢の緊迫化やホルムズ海峡を巡る供給懸念を背景に上昇しました。その後、米国とイランとの停戦交渉の進展期待から一時下落したものの、2026年7月には対立再燃を受けて再び上昇しました。一方、金価格は米ドル高や金利上昇などを背景に下落しました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の0.76%から期末は1.07%となりました。期中においては、日銀の追加利上げに対する思惑や日本の財政悪化懸念、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率は概ね高位を保ちました。また、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れました。

【マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）】

主として先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引、為替先渡取引およびコモディティ・インデックス・スワップ取引等を投資対象とし、システムティック運用により、買建（ロング）ポジションと売建（ショート）ポジションを取ることで、市場の上昇および下落双方の局面においても収益を追求することを目的として運用を行いました。

【T&Dマネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券を50%超組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準等を勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率を高位に保ち、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れた運用を行う方針です。

【マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）】

主として先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引、為替先物取引およびコモディティ・インデックス・スワップ取引等を投資対象とし、システムティック運用により、買建（ロング）ポジションと売建（ショート）ポジションを取ることで、市場の上昇および下落双方の局面においても収益を追求することを目的として運用を行います。

【T&Dマネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は利上げ姿勢を維持していくことが見込まれ、国内金利は緩やかに上昇しつつも比較的底堅く推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2026年 2 月25日から2026年 8 月24日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2026/ 2 /25～2026/ 8 /24		
	金額	比率	
平均基準価額	9,770円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	49円 （ 20） （ 27） （ 2）	0.502％ （0.207） （0.278） （0.016）	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 （監査費用）	1 （ 1）	0.009 （0.009）	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	50	0.511	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

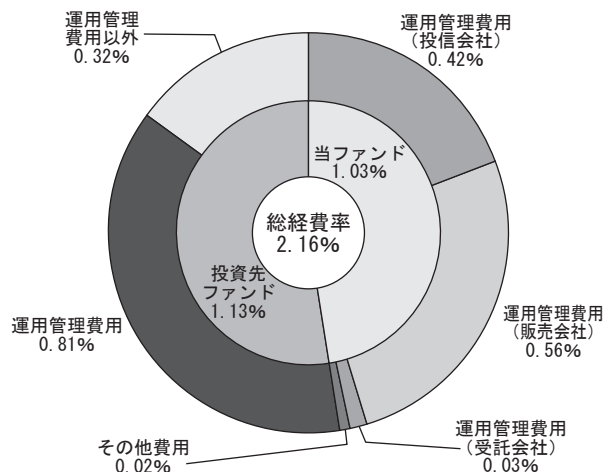
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、2.16%です。



総経費率 (①+②+③)	2.16%
①当ファンドの費用の比率	1.03%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.81%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.32%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2026年2月25日から2026年8月24日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー 日 本 円 ク ラ ス (ヘ ッ ジ 付)	口 —	千円 —	口 40,482	千円 471,000

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等 (2026年2月25日から2026年8月24日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2026年8月24日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー 日 本 円 ク ラ ス (ヘ ッ ジ 付)	口 287,749	口 247,266	千円 2,900,680	% 95.9

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	
T & Dマネーアカウントマザーファンド	千口 99	千口 99	千円 100	

(注) T & Dマネーアカウントマザーファンド全体の受益権口数は199千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2026年 8 月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー 日 本 円 ク ラ ス (ヘ ッ ジ 付)	2,900,680	94.5
T & D マネーアカウントマザーファンド	100	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	167,971	5.5
投 資 信 託 財 産 総 額	3,068,751	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年 8 月24日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,068,751,154円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	167,965,976
マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ ー 日 本 円 ク ラ ス (ヘ ッ ジ 付) (評 価 額)	2,900,680,299
T & D マネーアカウントマザーファンド(評価額)	100,501
未 収 利 息	4,378
(B) 負 債	45,336,815
未 払 解 約 金	28,962,530
未 払 信 託 報 酬	16,094,445
そ の 他 未 払 費 用	279,840
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,023,414,339
元 本	3,071,749,900
次 期 繰 越 損 益 金	△ 48,335,561
(D) 受 益 権 総 口 数	3,071,749,900口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9.843円

- (注) 期首元本額 3,465,331,301円
 期中追加設定元本額 10,568,175円
 期中一部解約元本額 404,149,576円
 (注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は48,335,561円です。
 (注) 1口当たり純資産額は0.9843円です。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (382,769円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0円)、収益調整金 (235,335,995円) および分配準備積立金 (4,439,200円) より、分配対象収益は240,157,964円 (1万口当たり781円) となりましたが、当期の分配は見送らせていただきました。

損益の状況

当期 自2026年 2 月25日 至2026年 8 月24日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	487,564円
受 取 利 息	487,564
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	76,265,683
売 買 益	82,626,279
売 買 損	△ 6,360,596
(C) 信 託 報 酬 等	△ 16,374,285
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	60,378,962
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△294,308,689
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	185,594,166
(配 当 等 相 当 額)	(235,335,995)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 49,741,829)
(G) 合 計 (D + E + F)	△ 48,335,561
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 48,335,561
追 加 信 託 差 損 益 金	185,594,166
(配 当 等 相 当 額)	(235,335,995)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 49,741,829)
分 配 準 備 積 立 金	4,821,969
繰 越 損 益 金	△238,751,696

- (注) 損益の状況の中で
 (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・％、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2026年2月25日 ～2026年8月24日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	781

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

※元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

《お知らせ》

2026年4月1日適用で、「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が合併し「一般社団法人資産運用業協会」が発足したことに伴う名称変更について、信託約款の変更を行いました。

補足情報

T & D マネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

公社債

2026年2月25日から2026年8月24日まで

買		付	売		付
銘柄	柄	金額	銘柄	柄	金額
第1367回国庫短期証券		千円 149	—		千円 —

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

T & D マネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

下記は、T & D マネーアカウントマザーファンド全体(199千口)の内容です。

公社債

(A) 国内(邦貨建) 公社債<種類別>

2026年8月24日現在

区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 150 (150)	千円 149 (149)	% 74.5 (74.5)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 74.5 (74.5)
合計	150 (150)	149 (149)	74.5 (74.5)	— (—)	— (—)	— (—)	74.5 (74.5)

(注) () 内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内(邦貨建) 公社債<銘柄別>

2026年8月24日現在

銘柄	柄	利率	額面金額	評価額	償還年月日
(国債証券)		%	千円	千円	
第1367回国庫短期証券		—	150	149	2026/9/10
合計			150	149	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

組入投資信託証券の内容

マン・アンブレラ・SICAV－マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ルクセンブルク籍／外国投資信託／円建
運用の基本方針	中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主 な 投 資 対 象	先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引、為替先渡取引およびコモディティ・インデックス・スワップ取引等を主要投資対象とします。
投 資 態 度	①先進国および新興国の株価指数先物取引、債券先物取引、金利先物取引、為替先渡取引およびコモディティ・インデックス・スワップ取引等を積極的に活用し、主として市場動向の方向性にそって多数の先物等についてロングポジションまたはショートポジションを構築することにより、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ②先進国および新興国における多くの市場を対象としたシステムティック運用により、市場の上昇および下落局面においても収益を追求します。 ③投資運用会社の判断によりレバレッジを活用します。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主 な 投 資 制 限	①有価証券（先物等のデリバティブ取引は含みません。）の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ③一発行会社の発行済株式総数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ④流動性にかかる資産の組入れは10%以下とします。
決 算 日	毎年12月31日
分 配 方 針	原則として分配は行いません。
管 理 会 社	ウェイトストーン マネジメントカンパニー（Lux）S.A
投 資 運 用 会 社	AHL パートナーズ LLP

※次ページ以降の記載は、マン・グループ・ジャパン・リミテッドより入手した「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」の監査済報告書および保有明細をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。当該記載は監査報告書の入手可能な直近の決算日現在のものです。

※「マン・アンブレラ・SICAV－マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）」は、「マン・アンブレラ・SICAV」のサブファンドである「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」が発行する円建外国投資信託証券です。

マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ

(1) 純資産変動計算書

計算期間：2025年1月1日から2025年12月31日

	(単位：米ドル)
期首の純資産額	99,754,312
収益	
債券利息	1,327,602
受取利息	1,463,924
その他収益	129
収益合計	2,791,655
費用	
運用報酬	630,765
登録、事務代行、名義書換事務費用	129,563
監査費用、印刷および発行費用	34,626
支払利息	16,786
管理会社報酬	21,032
取引費用	19,617
純資産税	14,951
受託銀行手数料	24,640
役員報酬	6,640
成功報酬	14,751
その他費用	68,681
費用合計	982,052
投資に係る純損益	1,809,603
実現純損益	
有価証券売却に係る実現純損益	(3,660,640)
外国為替先渡取引に係る実現純損益	4,251,900
先物取引に係る実現純損益	1,007,608
外国為替取引に係る実現純損益	34,807
実現純損益	1,633,675
未実現評価損益の変動：	
－有価証券投資	2,124,846
－外国為替先渡取引	(676,686)
－先物取引	900,757
－外国為替取引	120,269
未実現評価損益の変動額	2,469,186
運用の結果による純資産の増減額	5,912,464
資本変動額	
追加設定金額	16,531,207
一部解約金額	(56,670,027)
当期末の純資産額	65,527,956

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(注) 「マン・AHL・アルファ・コア・オルタナティブ」における「日本円クラス（ヘッジ付）」の決算期末の持分比率は38.1%です。なお、持分比率は監査済報告書の情報をもとに当社が算出したものです。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2025年12月31日

(A) 債券

銘柄名	数量	通貨	評価額
			米ドル
United States Treasury Bill 0.00% 05/03/26	4,000,000	USD	3,975,720
United States Treasury Bill 0.00% 19/03/26	6,000,000	USD	5,955,528
United States Treasury Bill 0.00% 26/03/26	5,000,000	USD	4,959,492
United States Treasury Bill 0.00% 02/04/26	4,000,000	USD	3,964,484
United States Treasury Bill 0.00% 09/04/26	4,000,000	USD	3,962,084
United States Treasury Bill 0.00% 07/05/26	3,000,000	USD	2,963,490
合計			25,780,798

(B) 為替先渡取引（上位10銘柄）

通貨		評価額	評価損益
買い	売り		
		米ドル	米ドル
EUR	USD	28,400,905	323,577
JPY	USD	26,149,413	(110,014)
GBP	USD	22,806,251	492,368
USD	KRW	16,622,992	(311,743)
USD	JPY	14,925,450	162,899
USD	SGD	13,883,803	(104,140)
SEK	USD	11,731,550	203,929
CNY	USD	11,693,385	100,960
MXN	USD	11,427,304	355,446
KRW	USD	10,053,775	74,620

(C) 先物取引（上位10銘柄）

買い			
銘柄名	通貨	評価額	評価損益
		米ドル	米ドル
SWISS MKT IX FUTURE	CHF	3,110,837	56,510
FTSE 100 IDX FUTURE	GBP	3,023,551	51,811
MSCI EAFE	USD	2,896,841	5,259
EURO STOXX 50	EUR	2,510,054	28,132
S&P/TSX 60 IX FUTURE	CAD	2,435,329	9,625
S&P500 EMINI FUTURE	USD	2,425,250	(12,875)
Euro-BTP Future	EUR	2,408,409	(8,938)
OMXS30 IND FUTURE	SEK	2,392,499	57,166
FTSE/MIB IDX FUTURE	EUR	2,336,439	44,623
TOPIX INDX FUTURE	JPY	2,161,531	16,282
売り			
銘柄名	通貨	評価額	評価損益
		米ドル	米ドル
AUST 10Y BOND FUTURE	AUD	6,466,147	(9,573)
EURO-BUND FUTURE	EUR	6,003,154	10,171
EURO-BUXL 30Y BND	EUR	3,668,395	47,142
KOREA 10YR BND FUTURE	KRW	2,657,040	(7,421)
CAN 10YR BOND FUTURE	CAD	2,109,197	(7,777)
Euro-OAT Future	EUR	1,413,638	(2,631)
US ULTRA BOND	USD	471,500	(500)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

T & D マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第13期（決算日 2025年 9 月10日）
（計算期間 2024年 9 月11日から2025年 9 月10日）

「T & D マネーアカウントマザーファンド」は、2025年 9 月10日に第13期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信 託 期 間	信託期間は原則無期限です。
運 用 方 針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。 株式への投資は行いません。

最近 5 期の運用実績、基準価額の推移等

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率			
9 期（2021年 9 月10日）	円 9,995	% 0.0	% —	% —	百万円 0.099834
10期（2022年 9 月12日）	9,995	0.0	—	—	0.099834
11期（2023年 9 月11日）	9,995	0.0	—	—	0.099834
12期（2024年 9 月10日）	9,995	0.0	50.1	—	0.099834
13期（2025年 9 月10日）	10,010	0.2	75.0	—	0.200011

（注）基準価額は 1 万円当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

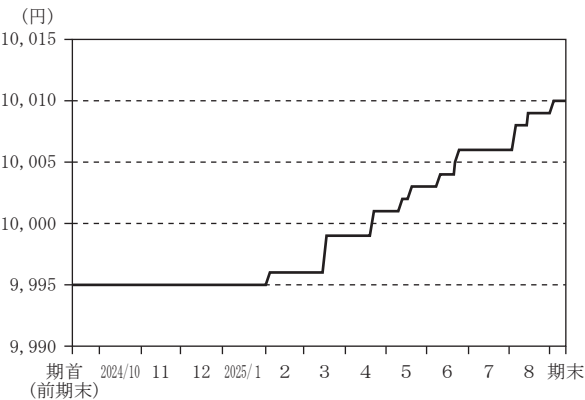
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
期首（前期末） 2024年 9 月10日	円 9,995	% —	% 50.1
9 月末	9,995	0.0	50.1
10 月末	9,995	0.0	50.1
11 月末	9,995	0.0	50.1
12 月末	9,995	0.0	50.1
2025年 1 月末	9,995	0.0	50.1
2 月末	9,996	0.0	50.1
3 月末	9,999	0.0	50.0
4 月末	10,001	0.1	50.0
5 月末	10,003	0.1	50.0
6 月末	10,006	0.1	50.0
7 月末	10,006	0.1	50.0
8 月末	10,009	0.1	75.0
期 末 2025年 9 月10日	10,010	0.2	75.0

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の9,995円からスタートし、期末は10,010円となりました。運用対象である国庫短期証券の利回りがプラスで推移したことから基準価額は上昇しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の0.08%から期末は0.41%となりました。期中においては、日銀の追加利上げに対する思惑や国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券を50%超組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は利上げ姿勢を維持していくことが見込まれますが、依然として金融環境は緩和的であり、国内金利は比較的安定的に推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2024年9月11日から2025年9月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2024年9月11日から2025年9月10日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	399	— (300)

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

(注) () 内は償還等による増減分です。

主要な売買銘柄（2024年9月11日から2025年9月10日まで）

公社債

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
第1314回国庫短期証券		千円 149	—		千円 —
第1282回国庫短期証券		49			
第1287回国庫短期証券		49			
第1238回国庫短期証券		49			
第1303回国庫短期証券		49			
第1273回国庫短期証券		49			

（注）金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等（2024年9月11日から2025年9月10日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細（2025年9月10日現在）

下記は、T＆Dマネーアカウンタマザーファンド全体（199千口）の内容です。

公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債＜種類別＞

区 分	当		期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国 債 証 券	千円 150 (150)	千円 149 (149)	% 75.0 (75.0)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 75.0 (75.0)
合 計	150 (150)	149 (149)	75.0 (75.0)	— (—)	— (—)	— (—)	75.0 (75.0)

（注）（ ）内は非上場債で内書きです。

（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

（注）残存期間が1年以内の公社債は、原則として償却原価法により評価しています。

（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内（邦貨建）公社債＜銘柄別＞

銘	柄	当		期		末
		利 率	額面金額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券		%	千円	千円		
第1314回国庫短期証券		—	150	149	2025/ 9 /22	
合 計			150	149		

（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成（2025年9月10日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	149	75.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	51	25.0
投 資 信 託 財 産 総 額	200	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年9月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	200,011円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	50,052
公 社 債 (評価額)	149,959
(B) 純 資 産 総 額 (A)	200,011
元 本	199,809
次 期 繰 越 損 益 金	202
(C) 受 益 権 総 口 数	199,809口
1 万口当たり基準価額 (B/C)	10,010円

- (注) 期首元本額 99,887円
期中追加設定元本額 99,922円
期中一部解約元本額 0円
- (注) 1口当たり純資産額は1.0010円です。
- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
ロボット戦略 世界分散ファンド 99,882円
ロボット戦略II 世界成長ファンド 99,927円

損益の状況

当期 自2024年9月11日 至2025年9月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	81円
受 取 利 息	81
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	96
売 買 益	96
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	177
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 53
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	78
(F) 合 計 (C+D+E)	202
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	202

- (注) 損益の状況の中で
(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
- (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

2025年4月1日適用で、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、信託約款の変更を行いました。